ステージ・ドア（1937）

STAGE DOOR

メディア 映画
ジャンル コメディ　ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 93分
初公開日 1939/02
公開情報 劇場公開

【解説】

ショウビズ界での成功を夢見る女優の卵たちが共に住むＮＹの女子寮。今日も皮肉に満ちた言葉で新入りが迎えられる。寮生たちは皆ライバル、これ以上争いを激化させるだけの新人を誰も歓迎しない。特に舌鋒鋭いＧ・ロジャース扮する、夜はクラブの踊り子で稼ぐ娘は、その言葉のキツい先制パンチにめげない地方の資産家の娘Ｋ・ヘプバーンにますます敵意を燃やす。劇壇では有名な色事師のプロデューサーのＡ・マンジューに見初められ、舞い上がるロジャースだったが、かつての彼の恋人の寮生に散々嫌味を言われる。一方、寮内でも信望の篤い、実力派のＡ・ミラーは久し振りに役がつき、それも大役なので胸踊らせていた。しかし、その役が、娘に芝居を諦めさせ田舎に帰したいヘプバーンの父の策略で娘のものとなるが、心優しいミラーは恨むでもなくただ落胆する。いきなりの重責に娘が挫けるのを期待した父のからくりを知らないヘプバーンは練習に励むが、気負いから箸にも棒にもかからない出来で、闇取引で主役に取り立てたマンジューもさすがに怒る。その時、ロジャースから寮で起きた悲劇の知らせがヘプバーンに届き……。

磨きあげられた台詞の軽やかな応酬、異なる性質の娘たちの葛藤と友情の育みを、滑らかなテンポで一つに縫い上げるラ・カーヴァの巧みな腕は“見事”の一言に尽きる。ヘプバーンの素晴らしさは言うまでもないが、ロジャースも女優として最良の表現をここでは見せてくれる。

【クレジット】

監督	グレゴリー・ラ・カーヴァ	Gregory La Cava
製作	パンドロ・Ｓ・バーマン	Pandro S. Berman
脚本	グレゴリー・ラ・カーヴァ	Gregory La Cava
	モリー・リスキンド	Morrie Ryskind
	アンソニー・ヴェイラー	Anthnoy Veiller
撮影	ロバート・デ・グラス	Robert De Grasse
音楽	ロイ・ウェッブ	Roy Webb
出演	キャサリン・ヘプバーン	Katharine Hepburn
	ジンジャー・ロジャース	Ginger Rogers
	ルシル・ボール	Lucille Ball
	アドルフ・マンジュー	Adolphe Menjou
	アン・ミラー	Ann Miller
	イヴ・アーデン	Eve Arden
	アンドレア・リーズ	Andrea Leeds
	ジャック・カーソン	Jack Carson

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.